A 試合会場レポート

試合番号 **249**　開催日 **2019/03/17**

2018-19 V.LEAGUE DIVISION1 MEN　ファイナル　6

会場： **丸善インテックアリーナ大阪（大阪市中央体育館）**

観客数:1300	開始時刻:12:00	終了時刻:13:27	試合時間:1:27	主審:小野　将人	副審:浅井　唯由

パナソニックパンサーズ

監督　：　川村　慎二
コーチ　：　古田　博幸

通算　：　**3** 勝 **1** 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：　**14**

JTサンダーズ

監督　：ヴコヴィッチ　ヴェセリン
コーチ　：サトレル　ティネ

通算　：**2** 勝 **1** 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：**7**

3	**25**	第1セット【0:24】	**18**	**0**
	25	第2セット【0:32】	**22**	
	25	第3セット【0:25】	**13**	
		第4セット【】		
		第5セット【】		

ﾎﾟｲﾝﾄ **3**　【 】内はセット時間　（）内は交代選手　ﾎﾟｲﾝﾄ **0**

<監督コメント>

今日の一戦にすべてをかけ、全員でしっかり戦い抜くことができた。
選手一人一人がよく集中し、最後まで戦ってくれたことを嬉しく思う。
苦しい場面でも皆が声を出し合い「チーム」の型になった試合だった。
１位通過が決まったが、気を抜くことなく来週もしっかりと戦い、ファイナルに繋げたい。
本日もたくさんのご声援ありがとうございました。

25	深津(陳)	山内	第1セット	ｴﾄﾞｶﾞｰ	小野寺	**18**
	ｸﾋﾞｱｸ	久原		山本	劉(武智)	
	白澤	大竹		安永(久原)	深津	

リベロ: 永野　リベロ: 井上(航)

25	久原	大竹	第2セット	深津	安永(八子)	**22**
	山内	白澤		劉(武智)	山本(久原)	
	深津(陳)	ｸﾋﾞｱｸ		小野寺	ｴﾄﾞｶﾞｰ	

リベロ: 永野　リベロ: 井上(航)

25	久原	大竹	第3セット	武智	深津(金子)	**13**
	山内(兒玉)	白澤		小野寺	安永(筧本)	
	深津(陳)	ｸﾋﾞｱｸ		ｴﾄﾞｶﾞｰ(八子)	山本(久原)	

リベロ: 永野　リベロ: 井上(航)、唐川

			第4セット			

リベロ:　リベロ:

			第5セット			

リベロ:　リベロ:

<監督コメント>

まったく良いところのない試合だった。
パナソニックは勝利に値するゲームを展開した。
勝ったパナソニックにおめでとうと言いたい。
ファンの皆さま、本日もご声援ありがとうございました。

<要約レポート>

１ポイントでも多く獲得し今後につなげたいパナソニックパンサーズと**JT**サンダーズの一戦。
第１セット、パナソニックは大竹、**JT**はエドガーの高さとパワーのあるスパイクを中心に点を取りあう展開となる。**JT**は山本の速いレフト攻撃を随所に絡めてリズムを掴もうとするが、パナソニックはセッターの深津が相手の意表をついたツーアタックを決めるなど、終始リードを保ったままこのセットを先取する。
第２セット、勢いに乗ったパナソニックに対して、**JT**は劉の緩急をつけた攻撃やエドガーのスパイク、リベロの井上(航)の好レシーブで応戦するが、山内のセンター攻撃や久原のブロックアウトなど多彩な攻撃を見せたパナソニックが逃げ切り、連取する。
後がない**JT**は第３セット、セッター深津が安永、小野寺のセンター攻撃を中心に組み立てて序盤から勢いに乗るが、パナソニックはクビアクのブロックを含む連続得点で８-７と逆転に成功すると、そこから久原のサービスエースや途中出場の陳のブロックで次々と得点を重ねてこのセットも取り、ファイナル６の１位通過を確定させた。

作成者 ： 山尾　未来

※本票の著作権は一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。